

# Program

## ショパン

ノクターン第20番「遺作」  
ラルゲット(ピアノ協奏曲第2番 op.21より 第2楽章)  
ノクターン第2番 op.9-2  
エチュード第3番「別れの曲」op.10-3  
エチュード第12番「革命」op.10-12  
幻想即興曲 op.66  
バラード第1番 op.23

## ベートーヴェン

交響曲第5番「運命」ピアノ版(リスト編曲)

※プログラムは変更になる場合がございます。予めご了承ください。

Koji Oikawa

# 及川 浩治

ピアノ・リサイタル

トーク&コンサート「名曲の花束」

令和 6月5日 日 開場 13:00  
4年 開演 14:00

会場 能代市文化会館 大ホール  
(〒016-0842 秋田県能代市追分町4-26)

主催 能代市/能代市文化会館/秋田県  
公益財団法人三井住友海上文化財団

後援 AAB秋田朝日放送

問合せ 能代市文化会館 ☎0185-54-8141



入場料 【大人】2,000円 【高校生以下】1,000円  
税込・全席指定・当日各500円増

### チケット発売日

友の会  
先行  
発売日 3月26日(土)  
窓口/午前9時~  
電話/午後1時~

一般  
発売日 4月2日(土)  
窓口/午前9時~  
電話/午後1時~

### プレイガイド

イオン能代店 ..... ☎0185-52-6339  
いとく能代SC ..... ☎0185-89-2480  
アサヒ楽器 ..... ☎0185-52-2275  
ササキ楽器 ..... ☎0185-52-9755  
サトウレコード店 ..... ☎0185-73-4200  
北秋田市文化会館 ..... ☎0186-62-3311  
ほくしか鹿鳴ホール ..... ☎0186-49-7066  
ローソンチケット ..... Lコード: 21719

※未就学児の入場はご遠慮ください。 ※友の会先行販売は、能代市文化会館のみ取扱いとなります。  
※前売券が完売の場合、当日券の販売はありません。

※本コンサートは(公財)三井住友海上文化財団の助成により特別料金に設定しています。

【新型コロナウイルス感染対策について】・新型コロナウイルス感染拡大防止のため公演が中止となる場合がございます。・来場者名簿の作成にご協力いただく場合がございます。(コロナ対策以外の目的では使用いたしません)・マスク着用、検温、手指消毒にご協力ください。

©Yuji Hori ©Rikimaru Hotta

## 三井住友海上文化財団 ときめくひととき 第934回

このコンサートは(公財)三井住友海上文化財団の助成により開催しています。



# 及川 浩治

ピアノ・リサイタル

トーク&コンサート「名曲の花束」

*Koji Oikawa*

今回皆様にお届けするプログラムは、多くの人々に愛されているショパンの珠玉の名曲集とベートーヴェンの交響曲第5番『運命』です。

ピアノの詩人と呼ばれるショパンの世界は「天才」としか言いようがありません。そこには同時代の作曲家のみならず、彼の音楽に触れた者を一瞬にして虜にしてしまう魔力があります。

誰もショパンにはなり得ない独特な個性を持ち、それが聴くものをまるで別の世界へと誘うかのようなショパンの音楽は高貴な精神、極上の美、感動のドラマが変幻自在に展開されます。

そして私はいつもショパンに感謝するのです。

超絶技巧のピアニスト・作曲家としてロマン派音楽界の英雄的存在であるリストは、ベートーヴェンの9つの交響曲全てを1台のピアノ用に編曲しています。ベートーヴェンの孫弟子でもあるリストが尊敬の念と演奏効果の融合という偉業を成し遂げました。

交響曲『運命』は、「人間はまじめに生きている限り、必ず不幸や苦しみが降りかかってくるものである。しかし、それを自分の運命として受け止め、辛抱強く我慢し、さらに積極的に力強くその運命と戦えば、いつかは必ず勝利するものである。」というベートーヴェンが残した言葉をまさに不屈の精神力で音楽として表現し、完璧な芸術作品として生み出した最高傑作です。

新型コロナウイルスとの戦いの日々が続いている今、私たちに感動を与えてくれるショパン、勇気を与えてくれるベートーヴェンの世界を是非皆様と一緒に感じることを願っています。

及川 浩治



©Ayumu Gombi

## 及川 浩治 (ピアノ) Koji Oikawa, piano プロフィール

4才からピアノを始める。1984年ヴィオッティ・ヴァルセイジア国際音楽コンクールで第1位受賞。1985年、国立音楽大学に入学。翌1986年にブルガリア国立ソフィア音楽院に留学。1987年にアレクシス・ワイセンベルクの公開セミナーに参加し、ワイセンベルク本人の意向により設けられた最優秀特別賞を受賞、練習用のグランドピアノを授与された。1990年にマルサラ国際音楽コンクールにおいて第1位受賞。また同年、第12回ショパン国際ピアノ・コンクールにおいて最優秀演奏賞 (Honourable mention) を受賞。1992年、日本国際音楽コンクールにおいて第2位を受賞している。

1995年にサントリーホールにてデビュー・リサイタルを行い、同年ラムルー管弦楽団定期演奏会 (佐渡裕指揮、サル・ブレイエール) に招かれバリ・デビューを飾る。1997年よりミュージック・シェアリング (旧みどり教育財団) による「レクチャー・コンサート」でヴァイオリニスト五嶋みどりと全国各地の小学校、養護学校などで演奏。1998年、札幌PMF (パシフィック・ミュージック・フェスティバル) に出演。1999年のショパン没後150年には、「ショパンの旅」というタイトルのコンサート・ツアーを行ない3万5千人をも動員するショパン・イヤー最大規模のイベントとなった。2002年6月ワイマール州立歌劇場管弦楽団の日本ツアーソリスト、2003年7月にはPMFオーケストラのソリストとして、2004年には佐渡裕ヤング・ピープルズ・コンサートのゲスト

として、全国各地で演奏。2005年サントリーホールで行なわれた「デビュー10周年記念コンサート」は満席となり大成功を収め、2008年～2011年には東京・大阪での同時プロジェクト「及川浩治10大協奏曲シリーズ」に取り組むなど人気・実力共に日本を代表するピアニストである。2015年2月にはテレビ朝日系列「題名のない音楽会」に出演し、ラフマニノフ「ピアノ協奏曲第3番」の熱演がオンエアされた。

国内主要オーケストラとの共演も数多く、2013年モスクワ・フィルハーモニー交響楽団、2014年ベルリン交響楽団、2015年ロシア国立交響楽団の各来日公演にてソリストとしてピアノ協奏曲を共演。2015年11月にはブルガリアにてソフィア・フィルハーモニー管弦楽団定期演奏会に出演した。

ダイナミックな中に繊細さをも併せ持ち、内面にダイレクトに訴えかける及川の演奏は多くの絶賛の声とともに幅広い層の共感を得ている。児玉邦夫・幸子、吉本美南子、コンスタンティン・ガネフ、ジュリア・ガネヴァ、ジャン＝マルク・ルイスダの各氏に師事。現在、宮城学院女子大学音楽科特任教授。

CDはショパン、ベートーヴェン、リスト、ラフマニノフなどの作品集をリリースし、いずれも高い評価を受けており、『ベートーヴェン：悲愴、熱情、ワルトシュタイン』と『ショパン：バラード』は「レコード芸術」誌特選盤に選出されている。